

ディスコグラフィー掲載

ディスコグラフィー【2019No.157】(HP 掲載)

分類：CD

作曲家：ハイドン

曲：弦楽四重奏曲第 63 番ハ長調 Op.64-1, Hob.III-65 他

演奏：ドーリック弦楽四重奏団

発売：CHANDOS

No. : CHAN 10971(2)

概要：

[ドーリック弦楽四重奏団の演奏会](#)で求めてきたドーリック弦楽四重奏団のハイドン第 3 トスト四重奏曲集という CD です。



収録曲目：

ハイドン

- 弦楽四重奏曲第 63 番ハ長調 Op.64-1, Hob.III-65
- 弦楽四重奏曲第 64 番ロ短調 Op.64-2, Hob.III-68
- 弦楽四重奏曲第 65 番変ロ長調 Op.64-3, Hob.III-67
- 弦楽四重奏曲第 66 番ト長調 Op.64-4, Hob.III-66
- 弦楽四重奏曲第 67 番ニ長調 Op.64-5, Hob.III-63 『ひばり』
- 弦楽四重奏曲第 68 番変ホ長調 Op.64-6, Hob.III-64

演奏：

ドーリック弦楽四重奏団

アレックス・レディントン (第 1 ヴァイオリン)

ジョナサン・ストーン (第 2 ヴァイオリン)

エレヌ・クレモン (ヴィオラ)

ジョン・マイヤーズコフ (チェロ)

録音時期：2017年5月5-7日、10月23-25日

録音場所：イギリス、サフォーク、ポットン・ホール

ネット上で得られた解説は以下のとおりです。

「世界最高峰の若手アンサンブルドーリック弦楽四重奏団のハイドン第3弾！
第6回大阪国際室内楽コンクール第1部門を制覇し、英グラモフォン誌では『最も優れた若手弦楽四重奏団の1つ』と絶賛され、シャンドスが次世代のメイン・アーティストとして期待を寄せるイギリスのアンサンブル、ドーリック弦楽四重奏団。

「太陽四重奏曲集」、「エルデーディ四重奏曲集」に続く絶好調のハイドン第3弾は、エステルハージ宮廷楽団のヴァイオリニスト、ヨハン・トストに贈られた作品64の「第3トスト四重奏曲集」。『ひばり』の名を冠された傑作、弦楽四重奏曲第67番を含む6つの四重奏曲集です。カーネギー・ホール、ウィグモア・ホール、ロイヤル・コンサートヘボウなど世界の主要ホールで定期的に演奏され高い評価を得るドーリック弦楽四重奏団の麗しきハイドンをどうぞ。(photo, Chandos)」

収録曲には、演奏会で演奏された曲の一つ『ひばり』が含まれています。

演奏会では、ハイドン、メンデルスゾーン、ベートーベンの曲が演奏され、それぞれの曲に合わせた演奏スタイルでしたが、この2枚組CDはオールハイドンで、6曲とそれぞれの楽章の表情に合わせた演奏が楽しめます。

この4重奏団は、全般的に、切れ味良く、爽やかな演奏が持ち味ですが、演奏会で演奏された『ひばり』でも、演奏会では、間接音が豊かで、もう少し柔らかい印象でしたが、それよりは、オンマイクでボウイングの様子などが分かりやすくなっています。

以上